

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2014年度 学校だより 第12号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2014年度)

これらすべてに加えて、愛を身につけなさい。愛はすべてを完成させる
きずなです。(コロサイの信徒への手紙 3章14節)

自分を見つめて

校長 橘 明子

三学期は短く、その日々はいくつかの行事と、学習のまとめで忙しい。しかし子どもたちはきっと自分らしく過ごすことでしょう。一学期にはたくさんの事柄をこなしていくことに困難を感じる子どもが多かったです。しかし、この時期になると一人一人の学校生活にたくましさを感じるようになりました。「成長しているな」と思える場面が一人ひとりに与えられているのです。

子どもたちは、家庭と学校では見せる顔が違うことがあります。それは、成長と捉えるべきかどうかは悩むところです。どのような場面でも見せる顔の変わらない子であって欲しいと願います。また、私たち大人は子どもたちに要求しすぎてはいないだろうかとも思う時があります。子どもたちの見せる姿や表情が、いつもと違うなと感じたら、その時を大切に考えて、大人がまず、自分を見つめ、歩みを振り返ってみるといいのもいいのかもしれない。

毎年恒例の「もちつき」は4年生の「命の学習(一年間を通して)」の最後に行われます。卒業生の「Oさん」をはじめ同窓会の方々が、一年間、4年生の授業を支えてくださいました。子どもたちのためにと力を注いでくださる皆さん(ご高齢の方々です)の気持ちは一つ。子どもたちのためにという一点で一年間をお付き合いして下さるのです。自分のためではなく、ともに生きる子どもたちのために、また同窓生のみなさんもお互いのことを思いやり支え合って、当日も参加してくださいました。

今回の「もちつき」の行事を振り返り温かな触れ合いと、子ども同士の思いやりがちらりと見えたのが、とてもうれしかったです。4年生は小学校と

幼稚園の子どもたちに「おもてなし」をしたいと心を込めて準備をしました。他の学年の子どもたちは、4年生の「もちつき」を大切にしたいという気持ちが言葉の中から、遊ぶ姿から感じることができました。日頃は活発に過ごし、トラブルや課題はありますが、いざという時には頼りになる子どもたちです。

私たちの生活の中には様々な事が起こります。例えば、苦しいこと辛いこと、嬉しいこと楽しいこと。その時、自分を見つめて振り返ってみると、神さまの声が聞こえてくるでしょう。自分がすべきこと、自分に出来ることは何かを。そして、実は自分の知らないところで神様が助けてくれていたことにも気づかされるかもしれません。今日も万事を益としてください。神様が私たちに進むべき道を備えてくださると信じていきましょう。

